



最終更新日：2006年5月1日

多数の方にご参加頂き、ありがとうございました。  
皆様のおかげで大盛況になりました。  
当日の様子は[こちら](#)です。  
追加写真は[こちら](#)です。

## 開催案内

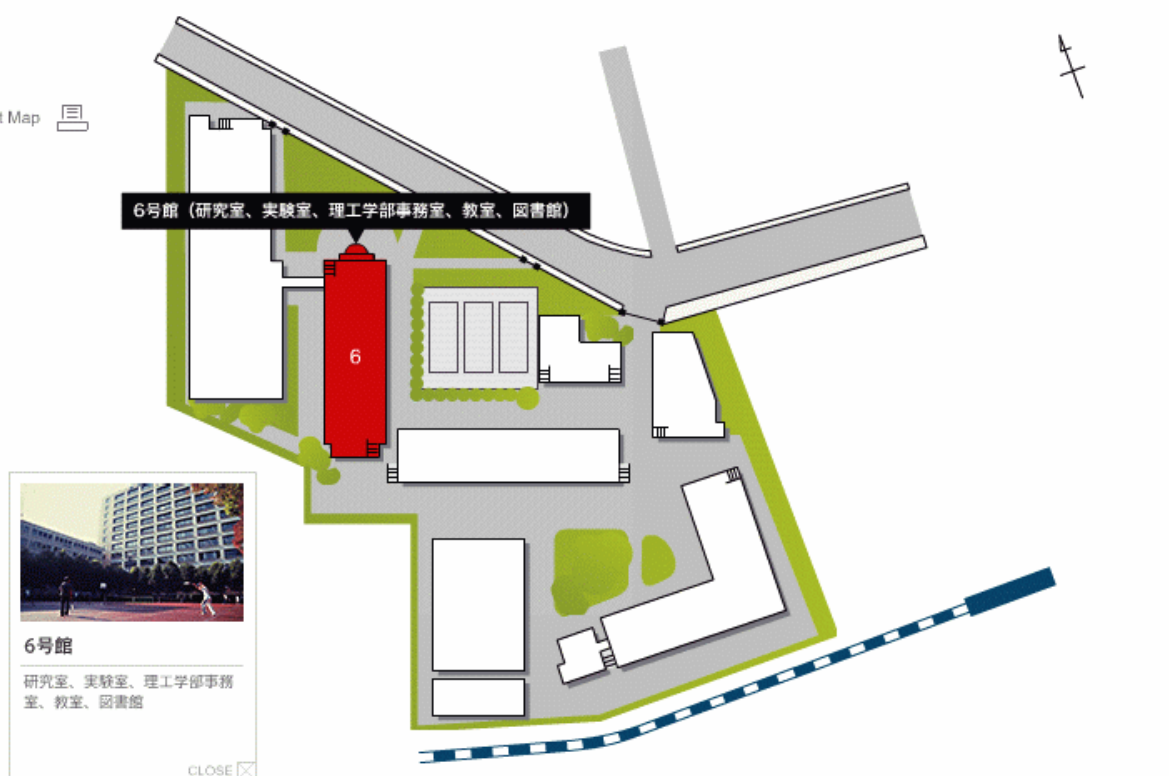
日時：2006年4月22日（土）

会場：中央大学 後楽園キャンパス 6号館7階 6701室

### キャンパスマップ

Korakuen-Campus

Print Map 



地図または下のメニューをクリックすると写真が表示されます

[後楽園キャンパスへのアクセス](#)

## 主旨

都市や交通に関する諸問題に対して、ORの観点から研究する『都市のOR』は、理論と実践が入り混じった学際的な研究分野です。したがって、様々な分野の学生が都市のORに取り組んでおり、その学生らの交流は極めて有意義であると考えられます。

しかし、研究に取り組み始めた学生にとって、学会や研究会で自身の研究を発表することは、大変荷が重いことでもあります。そこで、都市のORに取り組んでいる若手学生に発表の機会や（学生同士による）議論の場を提供すべく、2004年から毎年春に『都市のORスプリングセミナー』を開催しています。

このセミナーでは、発表者も座長も聴講者も、ほとんどが学生もしくは若手研究者です。そのため、誰に隠すことなく活発な議論を行うことができます。また、懇親会では、普段交流の少ない他大学の学生とも親睦を深めることができます。

皆様のご参加をお待ちしております。

## プログラム (発表：15～20分 質疑応答：5分～10分)

順番	発表時間	氏名	所属	発表題目
<b>14:00～14:05</b> 「開会の挨拶」 渡部 大輔(海上技術安全研究所) 座長：宮川 雅至(筑波大学)				
1	14:05～14:30	渡辺 泰弘	筑波大学	マルチエージェントモデルを用いた エスニック集団の居住地分布パターン
2	14:30～14:55	齋藤 淳	東京理科大学	立ち寄り型施設利用に基づく新規店舗の最適立地問題
3	14:55～15:20	傳保 能幸	中央大学	ユーザの要求を考慮した点ラベル配置
<b>休憩 (10分)</b> <b>若手研究者特別セッション</b>				
4	15:30～16:10	田中 健一	東京理科大学	需要の時間変動を考慮した立ち寄り利用施設の最適配置問題
<b>休憩 (10分)</b> 座長：本間 裕大(慶應義塾大学)				
5	16:20～16:45	小野田 竜巳	筑波大学	地名別お土産販売種類数を用いた地名ブランド力推定
6	16:45～17:10	武末 裕樹	筑波大学	火災や建物倒壊の影響を考慮した避難場所地区割当に関する研究
7	17:10～17:35	三河 辰洋	中央大学	災害時における要援護者の避難計画の立案
<b>17:35～17:40</b> 「閉会の挨拶」 烏海 重喜(中央大学)				

## 懇親会

日時：2006年4月22日（土） 18:30～

場所：[いごこちDINING「たかの家」](#)

## 過去のUOR紹介

[都市のORスプリングセミナー2005](#) [写真](#)

[都市のORスプリングセミナー2004](#) [写真](#)

お問い合わせ先

〒112-8551 東京文京区春日1-13-27  
中央大学大学院 理工学研究科 情報工学専攻  
都市のORスプリングセミナー実行委員会